

育成センターだより

令和2年度
No. 418

長野市少年育成センター
TEL. 228-8547
FAX. 224-0109

長野市青少年健全育成環境浄化強調月間(10月)
子ども・若者育成支援強調月間(11月)
児童虐待防止推進月間(11月)



10、11、12月の育成活動

新型コロナウイルス禍で『新しい生活様式』が導入されました。お互いうつらない、うつさない生活をしなから、これまで以上に自分の行動に責任を持った生活態度が求められています。

こんな時だからこそ、若者や子供たちと一緒に、私たち大人も自覚を新たにして、温かいコミュニケーションを基盤にしながら、この試練を乗り越えていきましょう。

力を合わせ、私から



育成活動の重点



★「子どもの表情、言葉遣い、そのまま丸ごと受けとめよう」
コロナ時代のストレスは見えないところに。子供たちのわずかな変化を見落とさず、励まし、見守りを。

★「朝のあいさつは 子ども以上に 大人から」
笑顔でさわやかな朝のあいさつは一日の心の栄養。できにくいあいさつだからこそ大人から子供たちへ。

★「深夜徘徊は 非行の芽」
久々の外出自粛解除で心も不用心。子供たちの夜遅い出歩き、外出に、愛の一声、愛の眼差しを。

★「相談は、受けとめ、寄り添い、語り合おう」
いつも以上に悩みや心配を抱えこんでいる子供たち。相談はしっかり受け止め耳を傾けて、指導は二の次三の次。

「コロナ禍の子どもたち 私たちがすべきこと」

長野市水内校長会生徒指導担当 吉田小学校長 山下 雅史

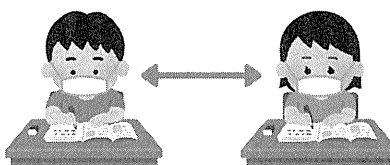


寄り添いが必要となります。本校では、職員室の大机にマスク紹介コーナーを作り、冷感マスクや通気性のよいウレタンマスク、マウスシールドなどを紹介し、マスク着用によるストレスを感じている子どもたちを支援しています。

今年度は、5月末日まで長期の休校となりました。この間に、これまで長期欠席が続いていたお子さんへの支援を充実させ、再登校につなげた学校があったと聞きました。まさに、ピンチはチャンスです。一方で、この休校期間に登校しづらくなってしまったお子さんもいました。特にクラス替えがあった学年は、新しい担任や友達との学校生活が2ヶ月も遅れたため、不安を抱えての学校再開となり、現在も各校で力を入れて支援しています。

また、休校期間中にネット利用のルールが守れなくなってしまうという声も聞かれました。長時間化やオンラインゲーム、SNS利用への心配やトラブル等、小中ともに様々な事案が出てきているようです。深刻化しつつある現状から子どもたちを守るために、本校でも児童対象のネット利用の学習会を実施しました。ところで、学校でも、感染予防のため、マスク着用の毎日を過ごしています。マスク着用は、感覚過敏を抱えるお子さんにとっては深刻な問題です。原則マスク着用としながらも、本人の苦しさへの

あれもだめ、これもだめという状態が続く中、子どもたちはストレスをためています。正しい知識に基づき、子どもたち自らが自分で考え、判断し、行動、表現できる力を身につけ、のびのびとした学校生活を送ることができるようになりたいものです。



距離をおいても、心離れず

続「子どもの自殺対策」

SOSの出し方に関する教育の授業を行って

長野市保健所健康課 難病精神保健担当課長補佐 佐藤 恵子

「SOSの出し方に関する教育」の授業等の実施については、自殺対策基本法に努力義務規定が設けられ、文部科学省、厚生労働省から連名で各学校で少なくとも年1回は実施するよう通知されています。

これを受け長野市でも「長野市自殺対策行動計画」に基づき、この教育を積極的に取り組むこととし、長野市教育委員会と長野市保健所が協力し、令和元年度から市内全ての小中学校での実施を呼びかけています。

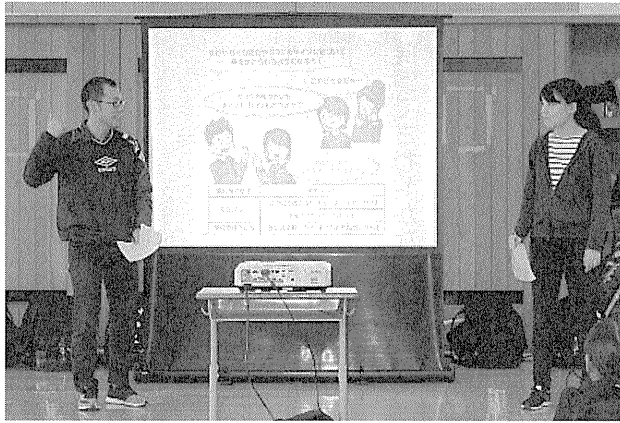
SOSの出し方に関する教育とは

親に心配をかけたくない、相談しても解決しないからなどの理由で、悩み事を誰にも相談せず一人で抱え込んでいる子ども達がいることが、長野県が実施した調査結果で明らかになっています。

この教育は、悩みを抱え、誰にも助けを求めることができずに苦しんでいる子ども達に「悩んだり困ったりしたときは、周りの信頼できる大人に相談しよう」「SOSを出していいんだよ」というメッセージを伝えるものです。

令和元年度の取組状況

長野市教育委員会と長野市保健所が実施した昨年度の取組状況調査では、市内小学校57校中42校、中学校では30校中21校が授業を実施しました。実施



先生方による寸劇を取り入れた授業の様子

初年度から市内の7割以上の小中学校で授業が行えたことは、どの学校においても、子ども達の心のケアに対する重要性を強く認識していただいている結果と思われまます。

授業後の学校側の感想では、「困ったことがあったら相談したいという子ども達が増えた」「実際に相談が増えた」という回答が多くありました。

また課題としては、「相談したいという子どもは増えたが、まだ相談できないという子どももいる。1回の授業で終わらず、この学びを継続していく体制が必要」「SOSを出していいん

だよと伝える以上は、そのSOSを受け止める側への啓発も大切」「大切なこと、教えたことが多くいが、なかなか全てを網羅する授業時間が取れない」という回答がありました。

SOSを受け止める側への啓発

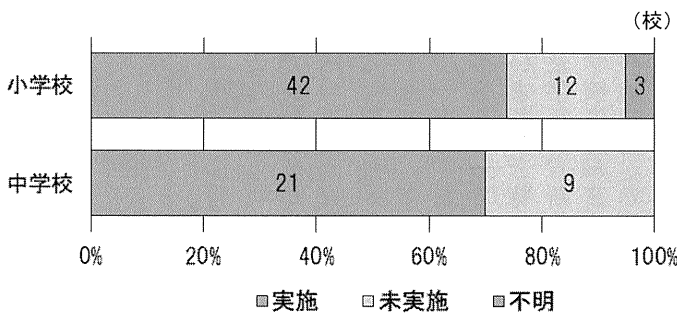
学校への調査結果を踏まえ、子ども達のSOSを受け止める側の啓発として、去る8月4日、信州大学教育学部・茅野理恵准教授を講師に招き「子ども・若者のSOSの受け止め方」と題して、市保健所にて研修会を開催しました。

研修会では、子ども達からの相談を待つのではなく、大人が子ども達のSOSに早く気づき、声をかけることが

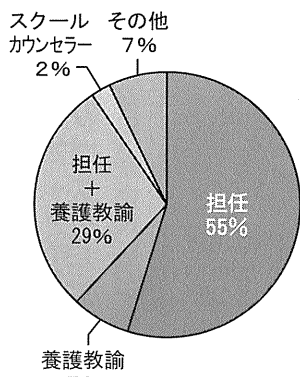
大切。そして、相談事はすぐに解決できないことがほとんどですが、「簡単には解決できそうもないよね。でも一緒に考えようね。」と、悩みに共感し寄り添うことが大切ということ等、多くのことを教えていただきました。

子ども達が心健やかに成長し、自ら大切な命を絶つことのない社会とするためには、学校、保護者、地域が連携協力して、子ども達のSOSに気づき、受け止めていくことが大切です。今後は、子ども達への「SOSの出し方に関する教育」を進めるとともに、子ども達を取り巻く大人たちの「気づきと受け止める力の向上」が必要と考えていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

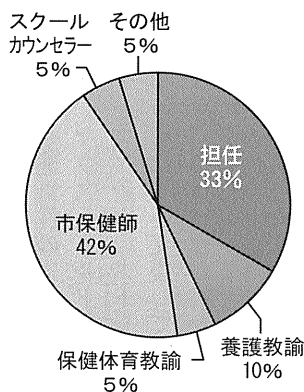
令和元年度「SOSの出し方に関する教育」取組状況調査結果



《小学校授業実施者》



《中学校授業実施者》



※長野市教育委員会調べ及び長野市保健所調べ合計値

学校の取り組み紹介

「克己心」

コロナにも負けない

川中島中学校 学校少年育成委員

久保 文夫

川中島中学校は昭和24年に創立した伝統のある中学校です。本年度の生徒数は799名。長野市最大の中学校でもあります。

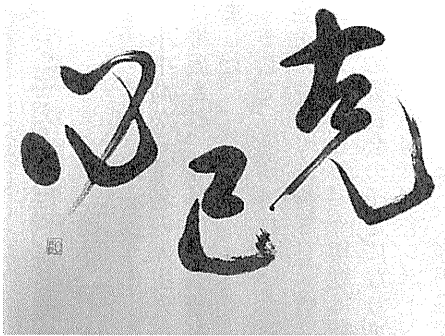
「己に克つ」「克己心」が川中に登場したのは今から46年前。当時の校長先生の「人間の一生は、他人ではなく結局は、自分の心にもう一人の自分が克つか負けるかによって決まるのではないか。」という考えに沿うもので、体育館に川中魂「己に克つ」の文字が掲げられました。以来川中の教育ではこの言葉を大切にしてきました。

今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、多くの授業や行事が中止でした。5月の分散登校を経て6月からようやく授業が再開しました。川中では通年ノーマイルです。時計を見て行動します。最初慣れなかった1年生も、今では2・3年生のように授業開始2分前に着席できます。部活動も6月から少しずつ再開しました。中体連の代替大会は7月下旬から8月上旬に行われ、短い期間精一杯練習して大会に臨み、その成果を十分に発揮しました。今年2回行われていた川中の資源回収も中止でした。その代わり生徒が

家から資源物を持参して学校で回収。生徒会の呼びかけもありたくさん集めることができました。

3年生は4月に計画していた修学旅行が9月に延期になり、感染が続いたため結局中止。本当に残念でした。その代わりにクラスマッチと日帰り旅行を行いました。クラスマッチでは校内でいろいろな種目を考えて実施しました。旅行では白馬のマウンテンハーバー、EXアドベンチャーに行きました。2日間共に生徒が主体的に計画・運営を行い、仲間と楽しく過ごすことができて中学校のよい思い出になったと思います。今は10月の文化祭に向けて準備を進めています。音楽会等が中止で1日開催になりましたが、ステージ発表やクラス紹介ビデオ制作、全校制作などの準備は例年以上にがんばっています。

普通にできない事が多いこの1年。その中でこそ川中生は「克己心」の精神を大切に、コロナにも負わずに努力し、成長しています。



大切に受け継がれている言葉

「コロナ禍の巡回活動」

夏の学校少年育成委員による巡回活動を中止しましたので、小範囲ですが、育成センター職員が巡回に廻りました。例年の夏とはちがいが、長野駅周辺の風景にもコロナ禍の影響が強く感じられました。

カラオケ店



コロナ禍の間、休業中のお店もありましたが、スタッフを減らし営業時間を短縮するなどして営業されています。受付で、利用者の氏名、連絡先の記入、年齢確認、体温測定など感染時の対応策を徹底されています。中高生の利用は比較的時間に集中し、短時間(2時間程度)の利用とのことでした。マスク着用しての、マスクカラオケです。

コンビニ店、書店、文房具店

どのお店でも店員さんがよく様子をみていてくれて、間違いを起ささないうちのさりげない声掛けに感謝を感じた巡回でした。



電子マネーの購入

電子マネーは、ネット代金の支払いなどには利便性があります。コロナ禍ではどうだったのでしょうか。昨今は少年の利用もおかしくない風景ですが、大きなお金を持つての購入には、声掛けを励行されています。また『振り込め詐欺』の被害防止にはスタッフをあげて注意をされています。

落書き

七瀬地下道に再び落書きを確認しまし

た。夏が過ぎるたびに、心が痛む出来事の一つです。どうにかならないものではないでしょうか。しばし立ち尽くしました。

映画館、ゲームセンター

深夜・早朝まで営業されているお店に向かいました。開店前の入口周辺には、開店を待つ学生風とみえる若者が数名います。これもコロナ禍の風景なのでしょうか。授業が開かれない若者は時間をどのように使っているのでしょうか。

長野駅周辺のゲームセンター



ゲーム機の間を透明ビニールで仕切る三密対策で、時間短縮営業でした。少年少女の姿を見ることがはなかつたです。カード専門店も透明な仕切りをテーブルに置いて対戦ができるようになっていきます。どこか、チケット販売店の窓口のようでした。『きまつた若者が土日に来店しますが、平日はほぼカード販売のみですね』とのことでした。

アニメグッズ専門店には、三密を避けながら、若いお客さんや親御さんと同伴の子が品定めをしていました。

地域スーパーも廻りました。不審者(ちかん)にあった高校生の話を聞きました。お店の中に今にも泣きそうな高校生がいるのに気がついた店員さんが素早く対応、不審者を警察へ通報、引き渡しています。

人の多い店や場所とは言え、『まさかという時間や場所』に改めて意識を向けて巡回活動に取り組まなければ、と実感して戻ってきました。皆さんの地域でも、心にとめておいていただければと願っています。



少年育成センターの活動が本格化しています ご利用をどうぞ

立入調査が始まる

長野市青少年保護育成条例に基づき、有害図書類の区別された配慮ある陳列、青少年の飲酒・喫煙防止、万引・不良行為防止への協力などを、育成センター職員が市内を回りお願いしています。

9月7日(月)DVD販売・レンタル店、書店様を皮切りに10月のコンビニ店様まで、延べ8日間、130余店舗を廻りました。どの店舗も立入調査の趣旨を理解いただき、大変協力的に調査をお受けいただきました。

多くの店舗は明るく清潔感があり、防犯に配慮がなされ、成人向け雑誌、酒類の表示、陳列は明確でわかりやすくなっています。販売の年齢認証も的確に実施されていると聞きました。

昨年の秋からコンビニ店では成人向け雑誌の扱いを自主的に止めています。全国一斉のこの動きはオリンピック・パラリンピックで多くの外国のお客様を迎える前に示された英断と聞きます。「おもてなし」の見直しと感じました。



現在コンビニ店では、このコーナーを自主的に設置していません

少年相談専門委員の活動が始まる

小中高から7名の先生方が専門委員に推薦され、5月に委嘱書が届けられました。

そして、延期されていた第1回委員会をようやく9月8日(火)に開くことができました。今年度は縮小して年3回の委員会の予定になります。

互いの指導事例をレポートにして持ち寄り協議し合い、専門機関の示唆もいただきながら、よりよい相談や指導の在り方を学びます。今年も校種を越えた学び合いに期待しています。

住民自治協議会・青少年健全育成活動の支援



「子供の姿がなくても、環境から見えてくるものがある」(参加者感想から)

6月28日(日)、長野市三輪地区の研修会・街頭指導に参加しました。青少年の非行・犯罪の現状や、街頭指導・環境浄化活動の具体と配慮などを研修しました。DVDを用いて、この

少年相談専門委員

- 委員長 塩澤 幸彦(芹田小)
- 副委員長 齋藤 貴寛(大岡中)
- 委員 小坂 和(吉田小)
- 委員 笹井 茂則(昭和小)
- 委員 小林 克年(犀陵中)
- 委員 高野 勉(市立長野高)
- 委員 小根山大河(市立長野高)

1年間よろしく
お願いします



活動の意義や視点を映像を通してお伝えしました。8月23日(日)、篠ノ井地区少年育成委員会の研修会に参加しました。DVD啓発資料で、犯罪機会論に基づく視点「入りやすい・見えにくい」で考えていただき街頭指導に生かしてもらいました。8月7日(金)には東北地区区長会にて人づくりをテーマに、育成センター主催出前講座でスマホSNSに関わる小中学生の学びの様子をお話ししました。



「今の子どもたちが抱えている悩みや心配が見えてきました」(参加者の声から)

★困りたり…困る前に★

少年育成センター相談ダイヤルへ

電話 2288-8588

月々金曜日 8時30分～17時15分

※匿名でけっこうです
来所の相談にも応じています

教材DVDをお貸しします

- ①親や先生が知らない子供防犯スクール 連れ去り・誘拐編 (24分)
- ②中学生の命と心を守る 防ごう!性のトラブル (20分)
- ③いじめの早期発見と対策シリーズ 保護者編 (26分)
- ④スマホの安全な使い方教室 SNSのトラブルに (23分)
- ⑤親や先生が知らない子供防犯スクール ネット・SNSトラブル編 (25分)
- ⑥小学生のスマホの安全な使い方教室 (全2巻) (25分)

申し込みは 電話 2288-8547

編集後記

学校生活が通常の状態に戻り、しばらく時間がたちましたが、子供たちの様子はいかがでしょうか。学校では授業や特別活動、行事が例年とは異なるスピードや形態で、子供たちに様々な影響やストレスを与えていると耳にします。こんな時こそ学校や地域社会全体で連携し、子供たちを見守り、励ましていきたいものです。ピンチをチャンスに替え、コロナ禍に負けない元気な下半期になりますよう力を合わせていきましょう。